



みやがや

がっこうきょういくもくひょう
～学校教育目標～

じぶん み みらい こ
自分を見つめ ともに 未来をつくる子

- 【知】 ひびきあふゆたかなまななかで じぶんを見つめ ともに たんきやう 探究する子
【徳・体】 たくましく しなやかな こころ からだ たが たいせつ ともに けんこうな 生き方をつくる子
【公・開】 ひと やまちと かわりあひながら まちに ほこりをもち ともに あたら かい 価値をつくり出す子

「スキ」

副校長 鈴木 暁範

「OOOOさんにスキされました！」(note)※1

ちょっとドキッとしてしまうのですが、今、学校のメールアドレスには、こんなタイトルのメールが連日たくさん届くようになりました。いつも各方面からの依頼文や読み飛ばせない重要な通知が数多く届く中、この「スキ」にほっこりしているわたしがいます。

これは、すぐ一読でもお伝えしていますが、宮谷小学校が「note」を始めたことによるものです。教務主任とわたしで書いています。教務主任が書いた記事の方が「スキ」が多いのは何とも言えないところですが、学校の中で子どもや大人が頑張っていることが少しでも伝わり、また応援していただいたり、全国や世界の学校ともつながったりできたら楽しいなと思っています。続くかな・・・と不安を抱えて出発した中、この「スキ」というリアクションは、わたしたちをやる気にさせる二文字です。

「人は批判ではなく、称賛で最もよく働く。」 エルバート・ハバード(作家)

ふと、わたしたちは子どもにスキと言っているかどうか振り返りました。スキという言葉ではないまでも、職員は日々子どもたちと肯定的に関わっています。また、子どもの良さを見つけられるよう、良さが発揮できるような授業づくりに邁進しています。

そんなことをあれこれ考えている中、先日、5年生のあるクラスの音楽を参観しました。とても歌声がきれいで、体全体でリズムをとって歌ったり、歌がない伴奏のときにも、リズムを口ずさんだり、姿勢よく歌ったりする子どもたちの個性が素敵でした。そのクラスが音楽室にいる間に教室に行き、「素敵だったよ」とチョークで書き残してみました。その後、そのクラスの3名の子どもが家庭科の調理実習でゆでたジャガイモを持ってきてくれました。とてもおいしかったです。「一生懸命ゆでるためにはどうしたら良いか」その探究ややる気に、わたしのチョークのコメントが少しでもつながっていたらうれしいと思うばかりです。その3人に、「このジャガイモのゆで具合がイイネ！」と伝えました。もし、家でもつくっていたら「スキ」と伝えてください。

※1「noteのスキ」とは、note(ノート)という投稿プラットフォームで使われている「いいね」機能のこと。文章などを読んで「よかった」と思ったときに押すボタンで、書いた人へのリアクションとして届きます。宮谷小noteぜひご覧ください。(右のQRコードまたは、<https://miyagaya-es.note.jp/> アプリでご覧いただく場合はnoteをダウンロード後「宮谷小」で検索)

